

市民公開セミナー

最期まで 私らしく生き抜く ために、 今から考えてみませんか。

— 仙台での取り組みから —

平成30年10月現在、総務省統計局によると、65歳以上の高齢者人口は約3,560万人で過去最高となった。本セミナーでは、高齢者がその人らしく生き活きと最期まで暮らすことができる家族作り・地域作りを目指した活動や、病院から家に帰りたという思いを支えるための実践事例を紹介しつつ、“地域で暮らし続ける”の実現のためにどんなことができるのか、医療との付き合い方や相談できる医療者を持つことなどについて、ともに考える。



日時 2019年7月28日(日) 13:10-14:30 (開場13:00)

会場 仙台国際センター 会議棟 2階 橋

参加方法 参加費無料 / 当日受付 (先着450名)

講師 宇都宮 宏子 氏

在宅ケア移行支援研究所

訪問看護、“おうちへ帰ろう”と取り組んできた病院での在宅移行支援の活動から、市民の皆さん、そして医療・ケアの専門職の皆さんへのメッセージを送ります。



講師 玉井 照枝 氏

暮らしの保健室アングランチ・東北労災病院相談室

薬剤師として施設ホスピスで、居宅介護支援専門員として在宅で、がん相談員として相談室で、それぞれの生きるに寄り添ってきました。団塊世代の私として、自身の問題としてこのテーマを皆さんと考えてみたいと思います。



講師 佐藤 薫 氏

東北公済病院 地域包括ケアセンター 主任看護師

退院支援看護師として6年間の勤務を経て、現在は地域包括ケアセンターの病棟看護師として“家にかえる”を実現するために患者さんやご家族の支援をしています。



司会 菅原 千恵子 氏

(東北福祉大学 健康科学部)

及川 真喜子 氏

(宮城県看護協会 訪問看護総合センター)

